

明治高等学校同窓会会報

発行
明治高等学校同窓会
〒101 千代田区猿樂町2-4-1
明治大学付属明治高等学校
TEL (03) 296-4555
編集・広報委員会
君塚美明

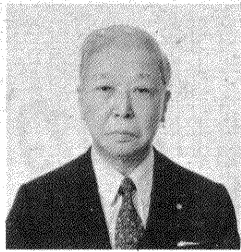
おことわり
本会報の題字は、2号
まで明治中学・高校同窓
会々報と称してありまし
たが、3号から明治高等
学校同窓会々報と改題し
ました。

同窓会の皆さんへ

副会長 坂本朝一

学校は 友達を作る場所

会長 栗原勝一



昨年七月から同窓会の会長を
させて頂いて居ります栗原です。今
後よろしく御願いいたします。

学校に入る目的は、申すまでも
なく、其處で教養を受けて立派な
社会人となり、世の中に盡すこと
が出来ることが目的です。一口で
申せば教育そのものの為でありま
す。

こんな事は今さら申すまでもな
いことですが、別に学校の
一つ一つの目的は、よい友達を持
つことが出来ることとあります。こ
れは学校の一つ一つの大きな仕事
であります。

幼稚園、小学校、中学校、大学
と段階があり、戦後は高校が加り
ます。その中で、私ことながら、
どういふ友達が出来たかという事
を申し上げてみたいと存じます。
幼稚園は、当時、区内には一つ
しかなく、私の家からは三軒近く
もあり、通学は一年だけでありま
した。友達の名前も覚えていませ
ん。同級生というものはありませ
ん。

小学校は本所区立柳島小学校で、
卒業当時大正六年には同級生は
なく、五六年経つてからはじめて同
級生が出来ました。はじめの内は牛

綿などをつきながら会合しまし
たが、段々と大人になるにつれて、
向島や浅草などで、若者を入れて
宴会しつゝのやりました。た
だし、会費は何時も五円以下でし
た。本所は関東大震災(大正十二
年)と大東亜戦争(昭和二十年)の爆撃
を受けて殆ど全滅し、同級生の
多くは地方に移転したり、中には
不幸にも死去したりして、残った
者は十名程でしたが、それでも担
任の先生が七十才余りでなくなる
までは毎週先生にも御来会願つて、
年一回楽しい会を持ちました。が、
今は会員は殆ど死んだので、会
は開けなくなってしまいました。

最後の学校は東京高等工業学校
でありまして、紡織科という繊維
工業を志す学生ばかりでありまし
たが、卒業時(大正十五年)が、昭
和の恐慌の前年であったため、就職
先も少く、職に就くことが出来た
者も殆どが地方の工場勤めであつ
た。同級生も持てませんでした。が、
名古屋などに居りましたので、そ
の地で会を開いたりして今日に
至つて居ります。尚、学校全体(八
科)の聯合の会は今年も五年毎に
総会を開いて居ります。今年は卒
業五十五年の会があります。

現在、明治同級生会でありまして、
大正七年入学があつて、今年で年
に十回、即ち夏を除いて毎月会を
開いて居ります。百四十回ほどに
なります。この明治会という同級
生会が出来たのは、何と卒業二十一

五月十五日同窓会開催

ホスト学年に昭和三十一年卒

わが同窓会の総会懇親会会員
大会も回を重ね第一七回総会が
別掲「案内」のとおり、来る五月
十五日(金)午後六時より、市ヶ谷
の私学会館で開催されることとな
つた。

今年、昨年、一昨年より若干
時期を繰上げ、風薫る五月の季節
が選ばれた。それに、始めての試
みとして、金曜日の夜とされたの
は、一方で土曜日も営業にあたる
自営業等の会員の都合も考えられ、
一方で土曜日の会員にはゆつとく
り休日前後を楽しんでいただくこ
との配慮のようだ。

丁度二五年を経ている人達で、多
士済々、社会の中堅として活躍し
ている。同期会も、名称はまだな
いが、ほぼ一年に一度くらいは開
催して、まとまりを見せている。
そんなところから、理事会の眼に
とまりホスト学年を仰せつかった
よつて、現在、森瀬良定君を中心
として総会の準備に忙殺されてい
る。

一方、理事会、代表幹事会も何
度か開催され、会員券の各学年へ
の配付など、ホスト学年への強力
な支援がなされている。
ところで、今年の懇親会のアド
ラクシオンとしては、「福引」を行
うことがきまつており、同窓生か
ら、景品として多数の協力出品が
いとのことである。

仲々賑わっております。
この卒業三十二年後、会員五十
才からはじまつた明治会も、偶然
に出来たものではあります。在学
中仲のよかつたグループが幾つか
集つて、立派な幹事役があつたか
らのこととあります。

私は、今すぐ、卒業直後から同
級生があつた方がよいとはお認め
しません。勿論あつた方がおき
ら結語ではあります。が、今は無
くても、何時かは必ず同級生が
出来ることは間違いないとお考え
になって、せめて小人数のグルー
プを大切にしながら、将来のこの
ことを考えて頂きたいと思ひます。
それは結果、より楽しい、より明
るい同級生会への近道であるからで
あります。

私が通つたのは、旧制の明治中
学だが、四年終了で第一早高へ入
学したので、卒業してはいないのだ
が、同窓会の一員としてはお認め
頂いて今日に至つています。

また、懇親会に花を添えるもの
として、昨年に引き続き明治大学
援団の吹奏楽部とバントウラー
ズの出演が予定されている。華麗
な演技、演奏が期待されるが、吹
奏楽の指揮にあたるのは、ホスト
学年でコンピエの作曲家として
著名な佐伯亮君のことである。

また、ホスト学年で写真担当
者を用意し、御希望に従つて同期
ごとに撮影した写真を後日お送り
するようアイデアもあるのだ。
この機会に、われら同窓生といつ
た思いの写真を撮つてもらふの
ではないか、とのことかもしれない。

願ひれば、わが明治高校同窓会
が発足し、戦前の先輩からすれば
かつては旧制明治中学の同窓会が
あつたので、再発足とされている
。したのは、昭和四〇年のこと
で、第一創立総会が明治大学記
念館で開催された。それ以来、戦
前の大先輩から近年の卒業生に至
るまで年令層は様々だが、各学年
の熱心な有志によつて、犠牲的な
努力が払われながら、今日に至つ
ているものである。今日まで尽力
された各先輩の話によると、今後
この同窓会が先細りになつてしま
わないか、とのことかもしれない。

ホスト学年の代表として、森瀬
君は次のとおり語つて居る。
森瀬良定君談「私達幹事は一丸
となつてベストでこの同窓会の準
備に臨んでおります。この同窓会
が今迄以上の楽しい総会になるの
も皆様方の暖かい御協力による
ものと信じますので、ひとつよろ
しく御願い致します。」

＝昭和56年度同窓会＝
開催のご案内

日時：五月十五日(金)
午後六時より

場所：私学会館
市ヶ谷駅より徒歩一分

会費：五千円

各学年委員より入
場券を購入して下
さい。

当日券の用意もあ
ります。

明治高校同窓会
会長 栗原 勝一

男の舞台を選ぶ一着

日本の生んだ 世界のブランド

ミリオントックスZ

Daido

大同毛織株式会社

「わが青春のリニューアル」

「第十六回同窓会」 盛大に開く



「楽しい歓談」のひとつ
池ノ端文化センター

的な生活を創造し維持する為、年令を超えた触れあいの場を提供するといった目的から「わが青春のリニューアル」をテーマにしました。更に、大学百年祭という、一つの歴史的背景を意識し、「校歌」も今日歌われている曲(児玉花外作詩 山田耕筰作曲)以外に、二曲あることが判明しているの、それを紐解き、先輩方に唱和願うこと、また、「青春」と名づけた以上は、男性のみに終始する同窓会ムードに、フレッシュでさわやかな彩りを入れるために、大学のバートントワラーズをステージに迎えることとなった。したがって、先述の旧校歌を唱う、そしてトワラーの舞をそえるためには、歴史ある大学の応援団吹奏部の応援をもつことになりました。かくして、各関係方面の絶大な応援を得て、すべてのスケジュールが、予定通り運び、従来とひと味違ったのしい時を刻むことが出来たのでした。

第10回 卒業生同期会(昭33年卒)のお知らせ

11月6日(金)6時ホテルニュージャパン(☎581-5511)
会費12,000円(同窓会負担金2,000円を含む)
楽しい同期会にしますので、ふるって御参加下さい。
幹事 遠藤 純 ☎(264)4081
二村 昌也 ☎(811)4459

優勝旗を母校に飾る めざせ関東大会出場

■明高剣道部■

第二十五回五大学付属高校大会は八月二十四日、明大中野高校で開かれた。大将戦、代表決定戦と苦戦の連続中、遂に念願の優勝旗を母校に飾る偉業を成した。省りみるに、昭和三十一年に当時の戸谷主将(現明大助監督)を中心に五大学付属七校の主将が集い結成した剣道大会、第二回の準備以外常に苦汁を飲まされて来た大会を、週三日と稽古数において他校におくれをとり、主将を怪我で欠くという大きなハンデを負っての出場にも拘らず、このことは、小西先生、園部監督(昭和二十五年卒)の指導のもと、全員一丸となつて努力した賜物、心から讃辞を贈りたい。関東大会出場を目指している部員への激励をこめ、OB諸氏が一人でも多く道場に顔を出し、亦稽古に参加して呉れる事を熱望します。昭和十七年卒 見心会 佐藤二郎記

創立三十周年 記念式典 ■明高バレー部■

来年の秋には学校創立七十周年を迎えるという、この一段と盛り上がりを見せております同窓会に、対しまして、我バレー部も創立三十周年という記念すべき年を迎えるにいたりまして、松枝正弘先生のスポーツを通しての人間教育に感謝し、また「明治」という伝統ある学校をより一層発展させるべくバレー部OB・二十六年卒、長坂進会長以下会同、同窓会に微力ながら協力させていただきます。二百余名主催、創部以来一貫

同期会紹介 猿楽会

(昭和二十六年卒)

第二次大戦の終局に当り、昭和二十四月入学。間もなく八月十五日の終戦と、混乱の中で学校生活は、勉学に動かしどころか、我が身を守るのが精一杯と云う時代でした。戦時中には焼あとの整理にも駆り出されたり、どん底の食糧事情の生活の中で、我々の中には仲間意識が段々と、育んで行ったのか、今でも同期の会には多くさんの友が駆けつけて来ます。卒業当時は一クラスの会で細々と続いてはいたのですが、たとえ一日でも机を並べた者は同期生。と云うのがモットーな卯木会長を盛りだてて、今後も進んで行きたいと思ひます。では猿楽会の云々を少々述べますと、我々のエトが猿昭和七年の生れであり、学校の所在地が猿楽町であり、大いに楽しむ会と云う趣旨から名付けられています。楽しむ仕事や、集まる事が好きな連中が多く、一年に一回の総会、新年会、忘年会、そして四十七年からはゴルフの会もスタートして、年に四回、少し白くなりだした頭を気にしながらプレーを楽しんでいます。又比れただけでは物足りない連中が、毎月

明治大学理事長

松本留義

明治大学顧問
小島憲

明治大学学長
山本進一

顧問
明治高等学校校長
清水義汎

名誉会長
大正十年第五回卒五明会
片岡龍夫

副会長
大正十四年第九回卒
望月晃一

副会長
昭和八年第十七回卒
高木正夫

副会長
昭和九年第十八回卒
坂本朝一

旧制明治中学校
昭和二年第十一回卒
明士会

昭和十七年卒
株三立電機
代表取締役 三上外喜男

昭和十八年卒
国産螺旋管(株)
代表者 石井文雄

明二会(新制二回昭和二十五年卒)
三光堂書店
高橋信雄

明二会(新制二回昭和二十五年卒)
大東京火災海上保険株式会社
清野保険事務所 清野八朗

昭和二十六年卒 猿楽会
会長 卯木敏夫
副会長 小林健治
代表幹事 荒井芳則
武政 熊井 他会員一同

事務局連絡先
〒101千代田区神田鍛冶町三十五(武政方)
電話(二五〇)八〇〇七九

熱海温泉東海岸
ホテルニュー稲元
稲田博士(昭和二十七年卒)
TEL 〇五五七(八二)五三三

杉並区和田一十二
電話(三八一)一一一

明大へ二百三十四名合格 今年もや、減少 中野教頭

学校法人明治大学は創立以来ここに百周年を迎えました。昨年十一月四日九段の武道館において内外の参列者八千人を以て盛大に創立百周年記念式典が挙行され本校生徒もこの記念すべき式典に全校を挙げて参列することができました。これは誠に喜ばしいことと存じます。

明治大学に在職している教職員は勿論、学生生徒、父兄、卒業生その他一切の関係者が、二百年に向って大きく第一歩を踏み出す決意を新たにしたのであります。わが明治高等学校中学校も昭和五十七年には創立七十周年を迎えることとなりますので、現在学校PTAとも総力をあげて記念事業の完遂に邁進すべく、諸準備を開始したのであります。本校創立者鶴沢聰明先生の、私学の雄としての本校教育の充実、有為なる人材を世に送り、明治大学と共に国家社会の発展に寄与するお考えを継承し、更にこれを発展させるために七十周年記念事業を行うのであります。従って記念事業の内容も既に学校長が同窓会、PTA等にご協力を求められている如く、本校の教育環境の整備、施設の拡充が主たるものであります。よろしく

会報短信

◎五明会大正十年第五回卒
今年は卒業六十周年を迎え、喜寿に達した卒業生(一〇一名)が現在三三名、皆んな年齢を感じさせない元気だが、この二、三年急に会員が減ってきたのは淋しいことだ。

でも毎月五日の例会には十二、三名、毎年五月の旅行会には各地から十七、八名が集り楽しい会合を続けている。顔が揃えば気持は中学時代そのまま、他所では味えない楽しさだ。昭和四十七年から隔月刊でB5版4頁の会誌「五明」を発行し中学時代の思い出、随想、近況等を載せて会員相互のコミュニケーションの場としており地方在住会員には喜ばれている。

◎明七會大正十二年第七回卒
毎月一回開催している味の會、壮者も若く健康でよく飲みよく食へ、棄てることを知らないお喋りの會が今春でも第一四〇回を迎えた。三月二十四日は池の端の鳥来で、四月二十一日は朝日新聞社の見学(夫人同伴)、五月二十三、四日はこれ又夫人同伴で残雪と青葉の白馬の山に登って浩然の

昭和56年度明大推薦入学者数一覧

学部	学科	1部	2部	計
法	法律	46	2	48
商	商	35	2	37
政治経済	産業経営	17	0	17
政治経済	政治	8	2	10
文	経済	36	14	50
文	文	7	0	7
工	史学地理	5	1	6
工	電気工学	3	—	3
工	電子通信工学	3	—	3
工	工学機械工学	1	—	1
工	精密工学	1	—	1
農	建築	4	—	4
農	工業化学	2	—	2
農	農	4	—	4
農	農芸化学	4	—	4
農	農業経済	2	—	2
経営	経営	35	—	35
計		213	21	234

みられ、本校の将来のために幸でありました。

二、大学推薦進捗状況については本年度は別表の如く一応の成果を挙げ得ましたが、学校長始め高三関係の先生方の特別な配慮と努力が必要でありました。それは推薦進学者の大学における受講状況が

一部思わしくないものが各学部の追跡調査の結果判然としてきたので、学部によっては非常に厳しく改善方を要求されたことが理由であります。本校が努力を重ねてか得てきた全入に近い成果は、返って生徒に安心感をもたらさず、安易感の下に学習不足のものが生じているためであります。このことは、われわれ教職員の猛反省と生徒自身の自覚と、ご父兄始め周囲の人々の付属校に対する正しい理解が最も大切であると考えます。

三、付属校としての本校の立場は全生徒に大学における受講能力を備えさせることが教育上重要な目標であります。よって二、三年教育体制充実を図って参りましたが、本年は四名の先生方がご退任になられたこととありますので、新たに五名の専任教員を採用し、教育充実を図り、国語科、社会科、一、二、三、英語科の新進気鋭の先生をお迎えして学校も益々活気をもつてまいりました。

四、その他生徒の指導は従来通り、精神高揚のために校旗掲揚、遅刻服装違反者等の指導のための登校下校時の教員の立寄、巡視指導員は現在も実施し効果をあげております。

以上簡単にではありますがご報告いたし、七十年の輝かしい歴史と伝統ある明高中の一層の充実発展に教職員一同努力しております。同窓会のみならずご尽力下さいますようお願いいたします。

◎己巳の会、ごみの会とも、うまみの会ともい。昭和四十五年生れの十七年入学者の同期会である。毎月第三王曜日午後六時、武田君の宮む「三派」渋谷四〇六五〇七五(時間的許す限りの者が三、五々集り放談する。

◎明七會大正十二年第七回卒
毎月一回開催している味の會、壮者も若く健康でよく飲みよく食へ、棄てることを知らないお喋りの會が今春でも第一四〇回を迎えた。三月二十四日は池の端の鳥来で、四月二十一日は朝日新聞社の見学(夫人同伴)、五月二十三、四日はこれ又夫人同伴で残雪と青葉の白馬の山に登って浩然の

◎三十九會昭和二十九年第六回卒
は本年第六回の同期会を開く。会場は水道橋の後楽園飯店で六月十四日(日)一時より開催。同期の諸君の出席をお願いします。

◎昭和三十三年度第12回卒業生同期会
我々の年代は順調に年をとれば、それぞ今年で四〇才を迎えることになる。丁度、仕事の方も多忙な世代に入りこんでいて、各業界で活躍していることを想うとお互に励みである。そして母校のことを振りかえるときとなつたところは、また格別である。

◎三十一會昭和三十一年卒業生同期会
は本年第三十一回卒業生同期会を開く。会場は水道橋の後楽園飯店で六月十四日(日)一時より開催。同期の諸君の出席をお願いします。

◎三十一會昭和三十一年卒業生同期会
は本年第三十一回卒業生同期会を開く。会場は水道橋の後楽園飯店で六月十四日(日)一時より開催。同期の諸君の出席をお願いします。

◎三十一會昭和三十一年卒業生同期会
は本年第三十一回卒業生同期会を開く。会場は水道橋の後楽園飯店で六月十四日(日)一時より開催。同期の諸君の出席をお願いします。

御宴会・クラス会・同窓会に
元祖やきかつ
レストラン 桃タロウ
浅草松屋裏 電話(八四二)〇七三五
長谷川 英一(昭和二十九年卒)

昭和三十三年卒
明治会
代表幹事 小林正三郎
山崎敬生

昭和三十三年卒
二瓶木材(株)・株式会社「ニヘイ」
代表取締役 二瓶満吉
江東区東陽五十三三九
電話(六四七)八八四一

昭和三十五年卒
丸山印刷株式会社
丸山哲朗
墨田区向島三二二二一
電話(六二四)六六七八

昭和三十六年卒
御座敷天ぶら「花長」
本多由明
中央区日本橋浜町二二七七八
電話(六六六)六二七一

昭和四十八年度卒
光ヶ丘グリーンテニスクラブ
鈴木公夫
柏市光ヶ丘二二二五五
電話(四七一)七四八七三三

昭和三十一年卒
森瀬 良定(昭和三十一年卒)
森瀬 啓太(昭和三十一年卒)
台東区鳥越一十九四
電話(八五二)二四八八

昭和三十一年卒
中田真之助
弁護士
事務所 中央区銀座四一四一太ビル4階
住所 杉並区阿佐ヶ谷北一三三
電話(三三九)三七一八

昭和三十一年卒
佐藤眞一
台東区浅草橋二二二五五
電話(八五一)七八四七

昭和三十一年卒
小柳証券船橋支店
支店長 高具鉄夫
船橋市本町三一六
電話(〇四七四)二二二〇二六一

昭和三十一年卒
浜元宏佳
千代田区九段北一四一
電話(二六四)二五七五

昭和三十一年卒
新藤喜久
台東区寿一八八
電話(八四四)一四二四

昭和三十一年卒
月岡洋児
代表取締役
荒川区東日暮里四一九
電話(八九一)七三二一

昭和三十一年卒
土田饒
中央区日本橋馬喰町一三三
電話(六六四)〇八一〇

昭和三十一年卒
日本コロムビア専属
作・編曲家 佐伯亮
中野区本町六四二二二三
電話(三八二)二〇二二

昭和三十一年卒
伊藤茂雄
千葉県市川市新井三一五
電話(〇四七三)五七七〇